湖上レストラン

N 配置図

西の湖の農作物、景色を
存分に楽しめる

ここでしか味わえないものや体験

＋

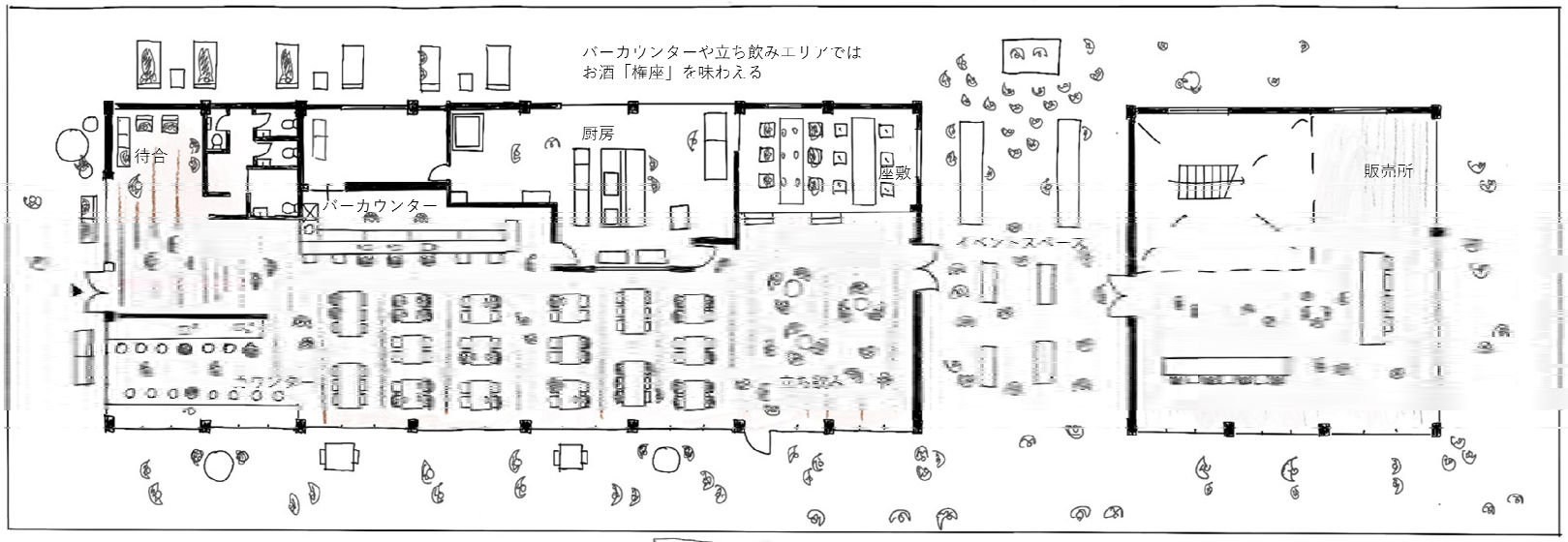
観光客や市外の人と
地元民、市民との交流

湖上レストラン

風や景色を感じながらゆったりと過ごせる

ノリーマーケットやコンサートなどを開催できる

栽培された作物をはじめ西の湖や近江八幡で
つくられたものを販売・購入できる



レストランは景色を楽しめるよう開放的な空間に

船などを寄せられる

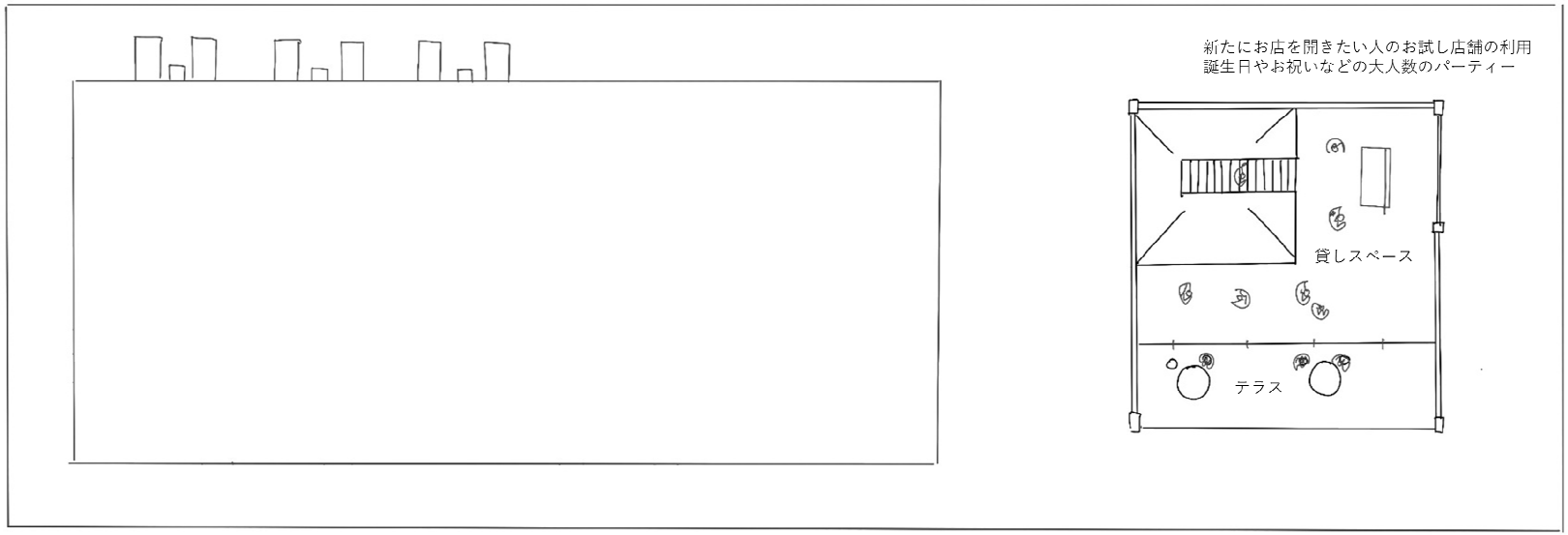
自由に西の湖をまわれる

湖上で食事ができる
1ユニットの空間

N

1階平面図

湖上レストラン



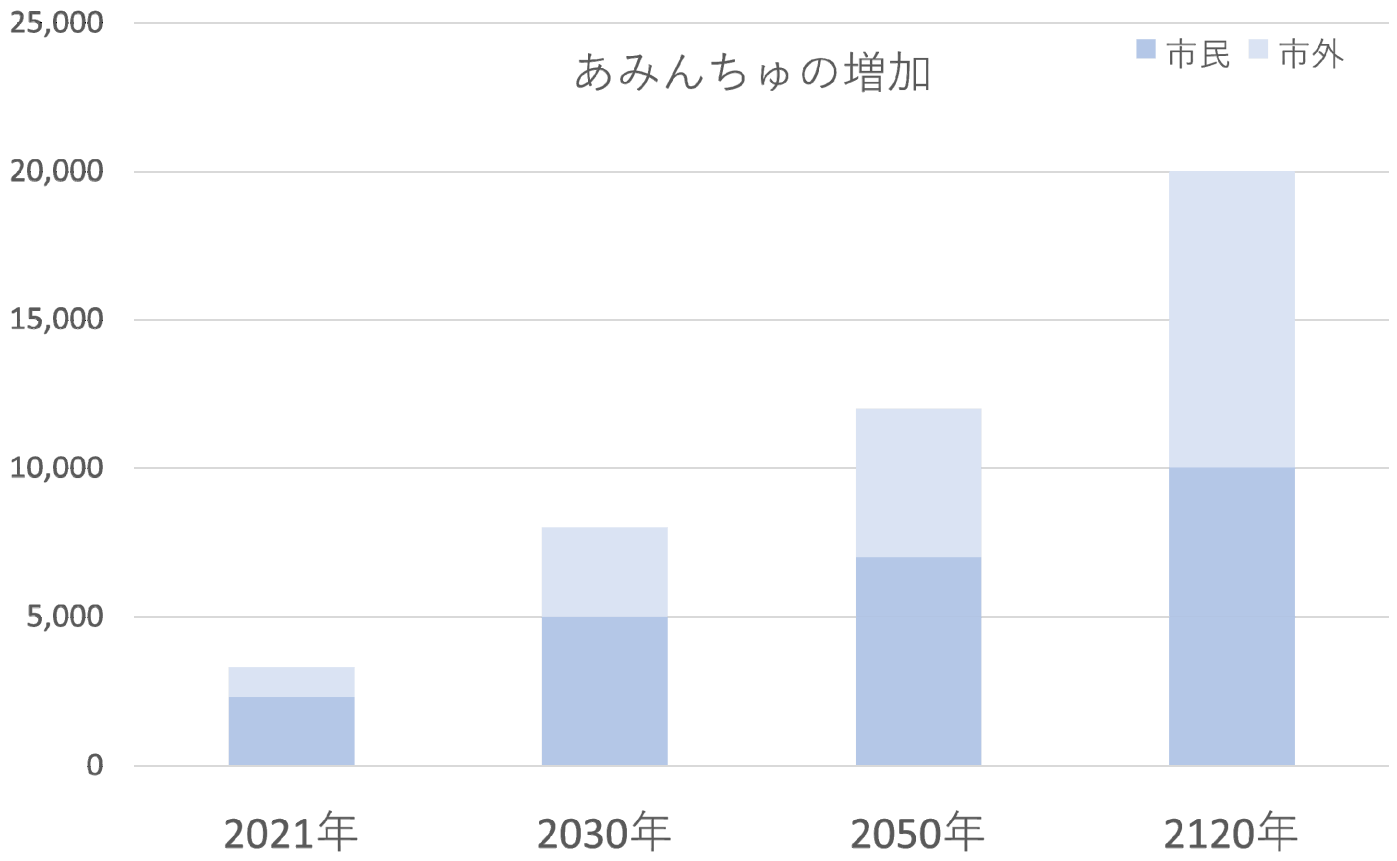
N

2階平面図

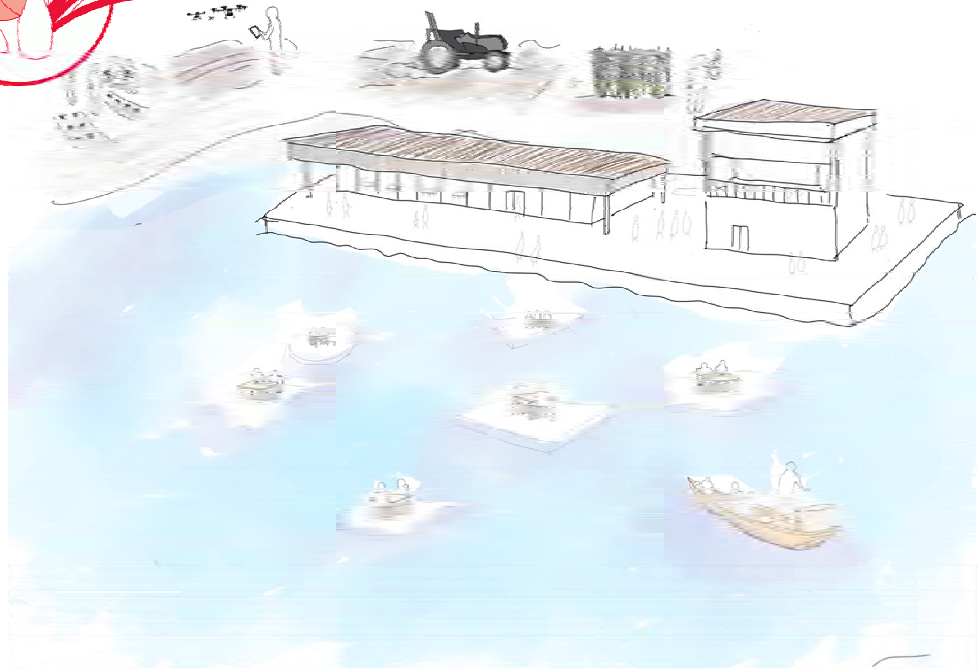
農業に関わる人

＋

湖上レストランを訪れる人
農作物を購入する人



農でつながる、ひろがる

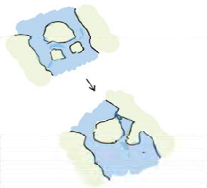


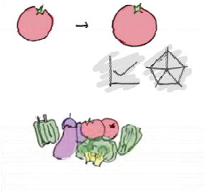
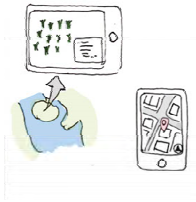
コンセプト

西の湖にはかつて多くの島状の田んぼが存在した。だが、干拓により権座のみとなってしまった。また琵琶湖や西の湖では水草の大量繁茂が生態系や悪臭の問題となっている。そこで西の湖の水と水草、そして権座を中心に西の湖から近江八幡までの農業の一括管理をめざす。水草の肥料利用農作物をブランド化し、権座でつくられたお酒と野菜を湖上レストランで提供し、西の湖ならではの体験ができる。

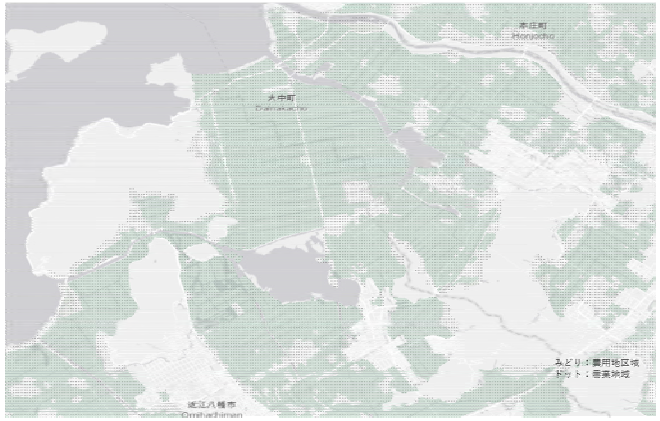
地理院地図Vector（国土地理院）
https://maps.gsi.go.jp/vector/を加工して作成

権座の保全 ⇨ **農家マッチング** 農家従事者の増加 水草肥料の認知 ⇨ 農作物のブランド化 ⇨ 農業DX ⇨ 湖上レストラン 農業一括管理



データ



西の湖周辺の農業地域

総農家数	1162戸
販売農家数	904戸
自給的農家数	258戸

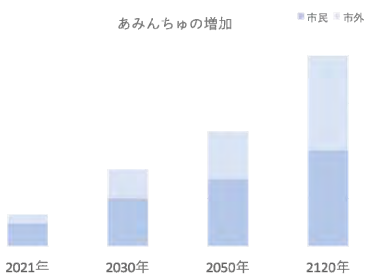
耕地面積	4310ha
田耕地面積	4140ha
畑耕地面積	169ha

作物	作付面積	収穫量
水稲	2570ha	13600t
小麦	1040ha	3990t
二条小麦	59ha	245t
六条小麦	26ha	107t
大豆	970ha	1350t
そば	33ha	36t
なたね	5ha	3t

＜権座＞　約2.5ha
1.0ha　大豆 サツマイモ等の野菜
1.5ha　酒米
→酒は毎年一升瓶3,000本ほど

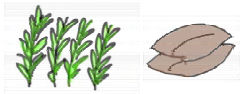
＜白王町＞
50戸のうち40戸が農家
→ほぼ全戸が集落営農組合

10ha(権座を含む)　水田
16ha　減反出での麦 大豆 黒豆



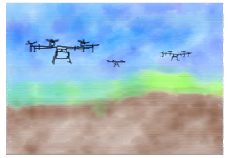
農業の流れ

肥料・土づくり



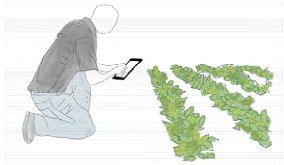
水草を肥料として利用

種まき・田植え



ドローンを活用
遠隔操作でどこからでも

管理



センサーやマイクロ
チップによるデジタル管理

収穫

収穫体験　AIによる収穫時期の判定 自動収穫機

加工・配送

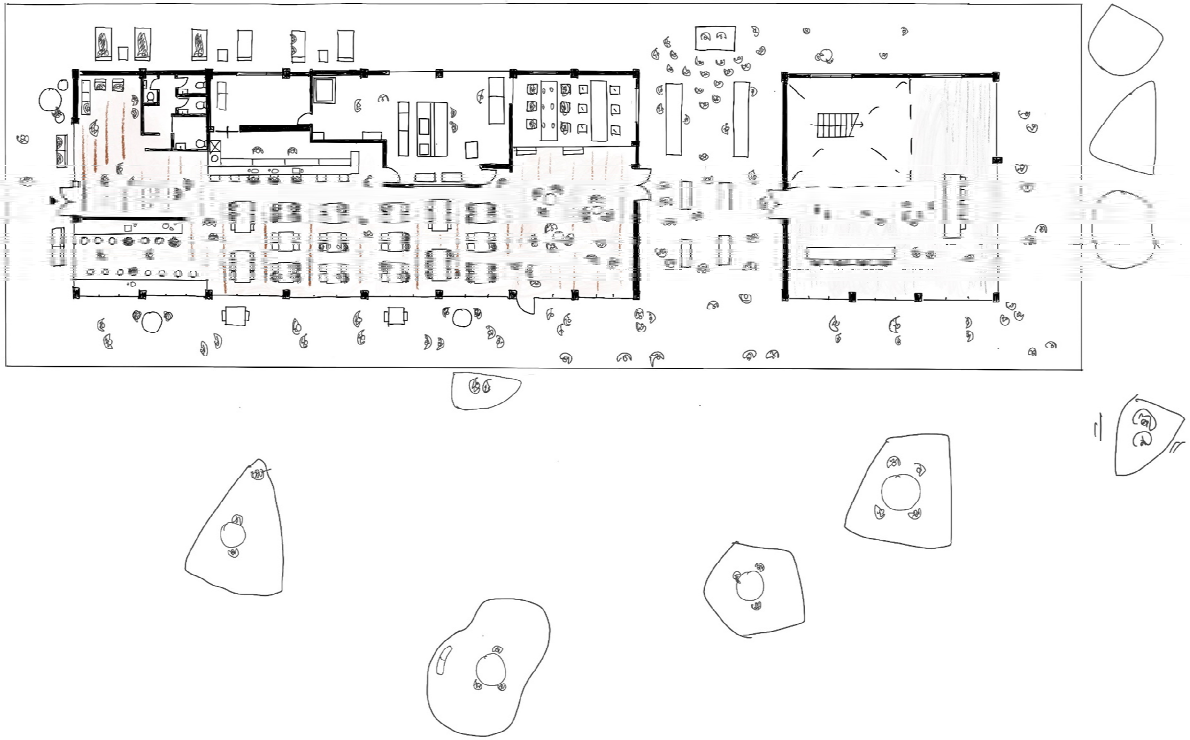
加工食品
選別・包装・配送の自動化

提供・販売

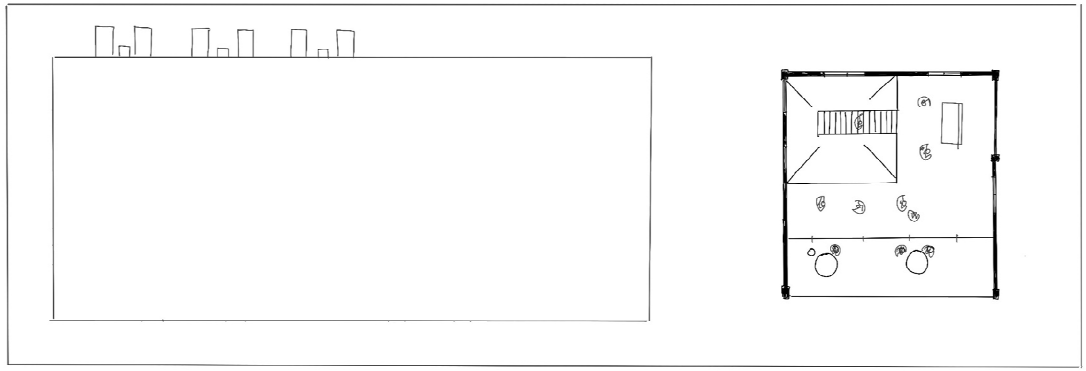
湖上レストランによる提供
無人販売

湖上レストラン

N 配置図



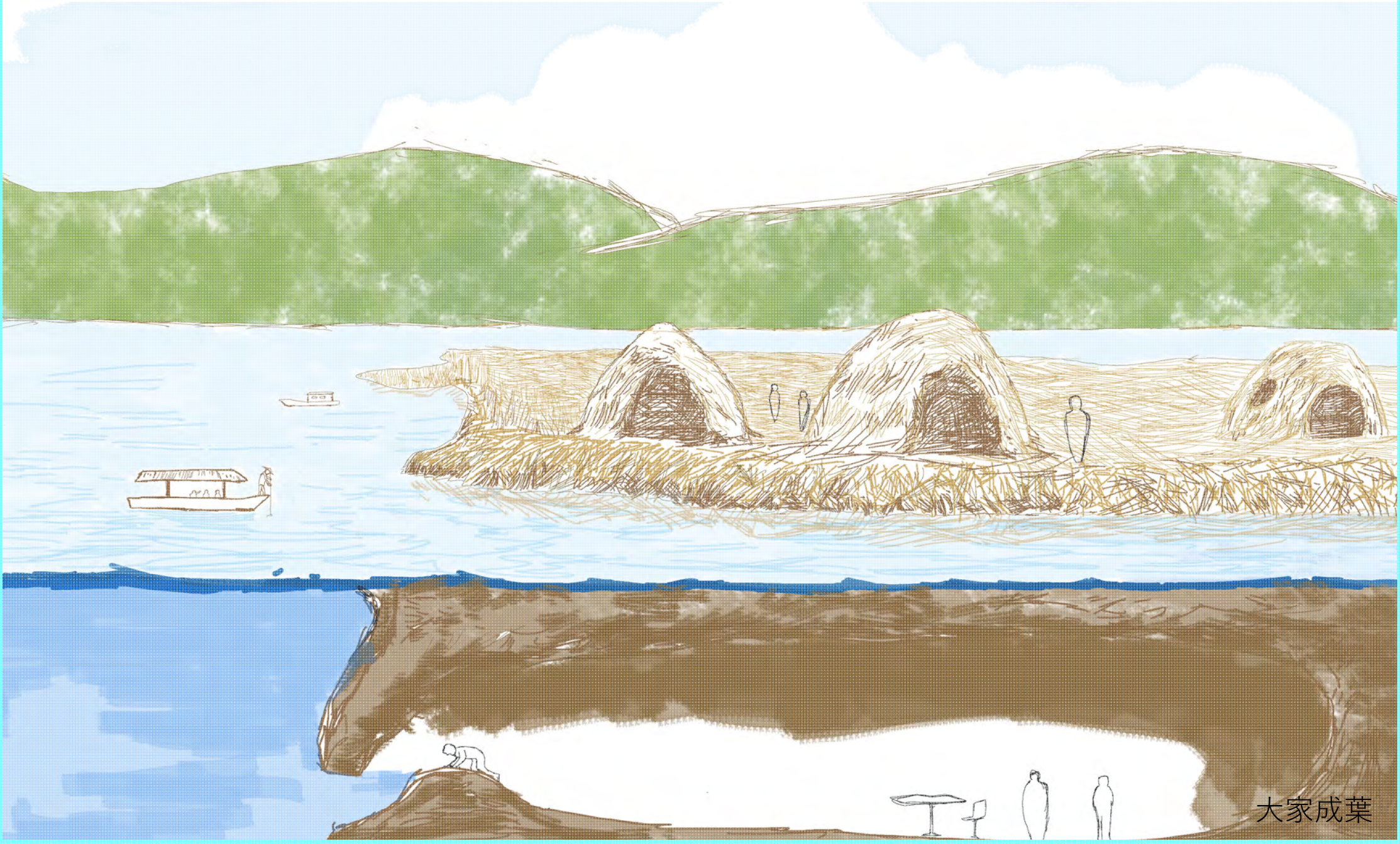
N 1階平面図



N 2階平面図

水遊び

湖上生活で昔の記憶を辿る



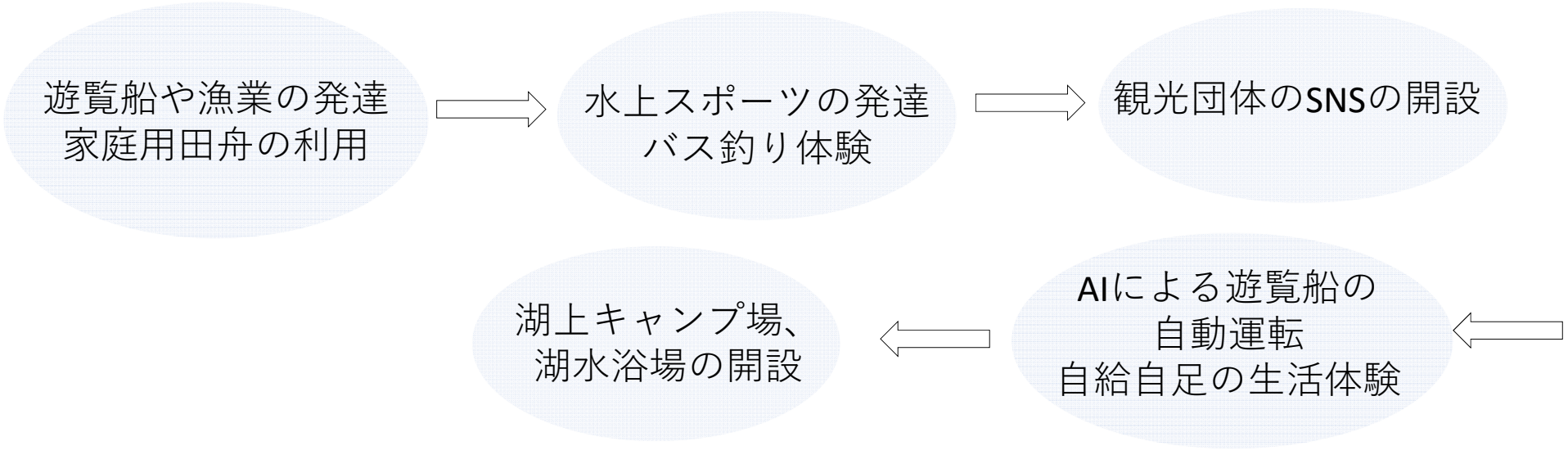
コンセプト

かつて西の湖周辺で盛んだった漁業や遊覧船が、現在は遊びとして楽しまれている。

それを未来ではまた過去に振り返り、西の湖ならではの湖上の生活が出来るようにする。

そしてこのビジョンにより日本中、世界中の人がかつて西の湖周辺でされていたことを

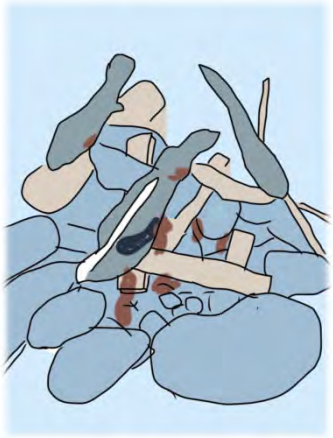
体験することができるようになり、あみんちゅの増加を促進する。



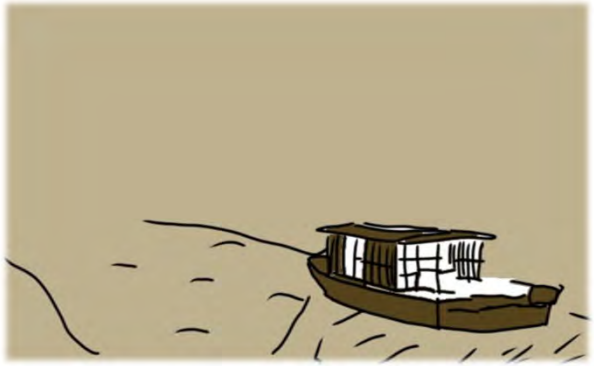
地理院地図Vector：https://maps.gsi.go.jp/vector/
を加工して作成

近江八幡市内での交通手段	割合（%）
1［鉄道］JR 琵琶湖線	21.7
2.［鉄道］近江鉄道	11.2
3.［路線バス］近江鉄道バス	9.6
4. 自家用車・レンタカー	67.0
5. タクシー	6.8
6. 団体貸し切りバス（観光バス）	6.7
7. 自転車・レンタサイクル	3.7
8. 八幡山ロープウェー	8.3
9. 水郷巡り遊覧船	6.0
10. 徒歩のみ	2.5
11. 特に移動しなかった	0.3
12. その他	1.1

1. 観光客の動向等に関する調査および分析 - 近江八幡市
https://www.city.omihachiman.lg.jp/material/files/group/102/kanko_doutai_chosa_2019.pdf



自給自足の生活体験

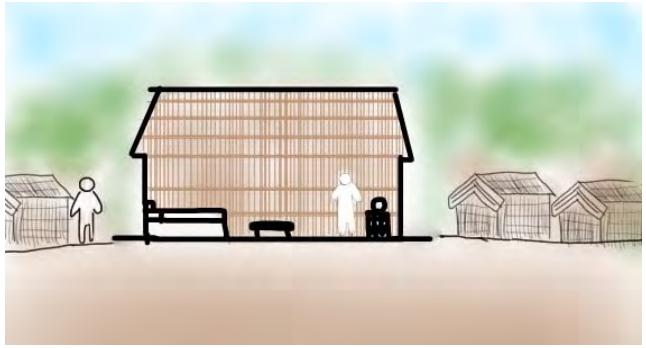


AIによる遊覧船の自動運転

湖上キャンプ

湖水浴場

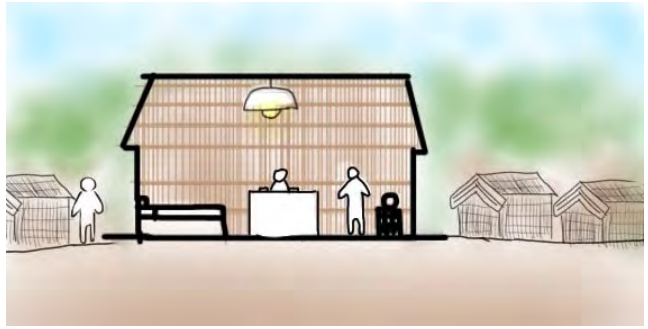
短期



1日目：遊覧船で西の湖を一周、乗りながら
「ジュンジュン」を食べる
湖上キャンプ場にて宿泊

2日目：水上スポーツをしながら、バス釣りを楽しむ
湖上レストランにて釣った魚を調理してもらい、
景色を見ながら食事を楽しむ

中期



1日目：遊覧船体験
2日目：バス釣り体験
3日目：水上スポーツ体験
4日目：観光団体の案内で西の湖回遊
5日目：湖水浴場で水遊び
6日目：魚漁体験
7日目：湖上レストランにて食事

長期

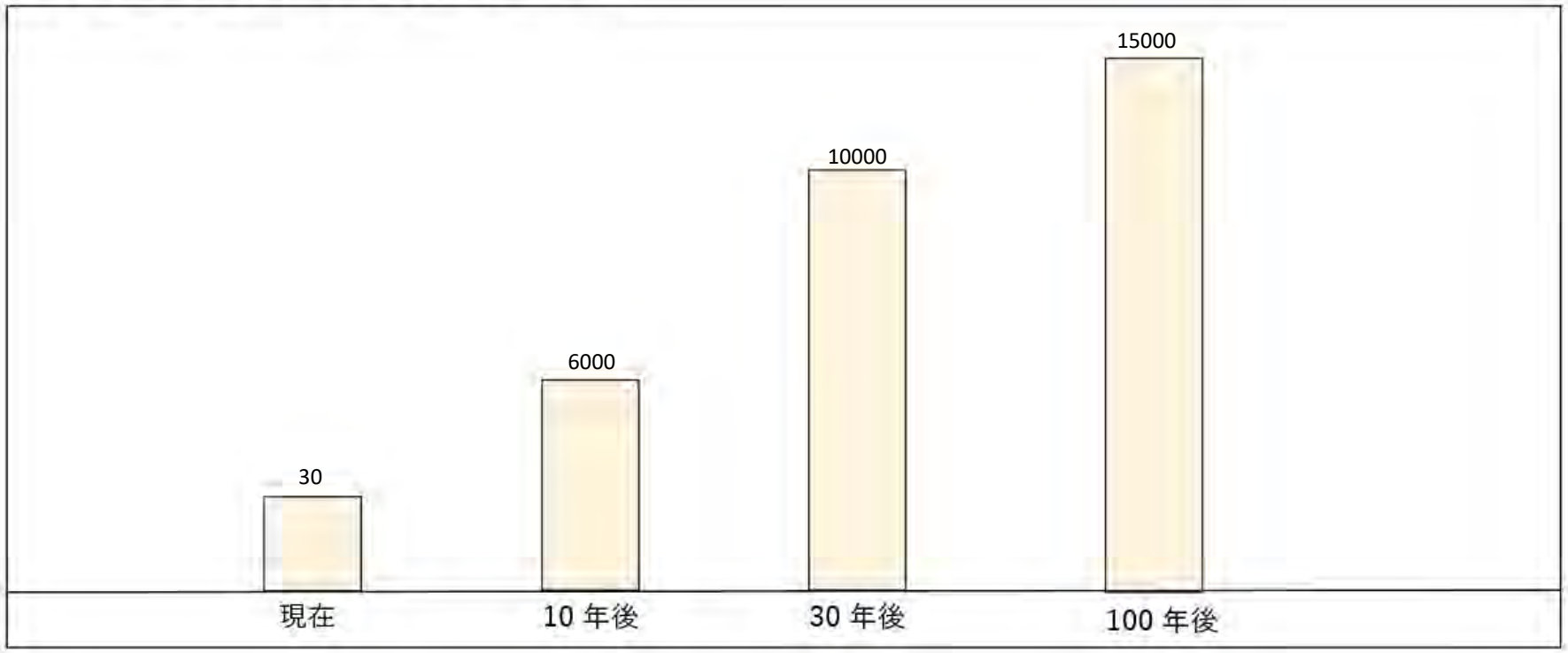
1週目：中期滞在と同じ体験をする

２週目：観光団体の案内で西の湖を巡る

3週目：キャンプ場づくり体験

4週目：観光団体と協力してＳＮＳで、
体験したことを発信する

あみんちゅの増加グラフ

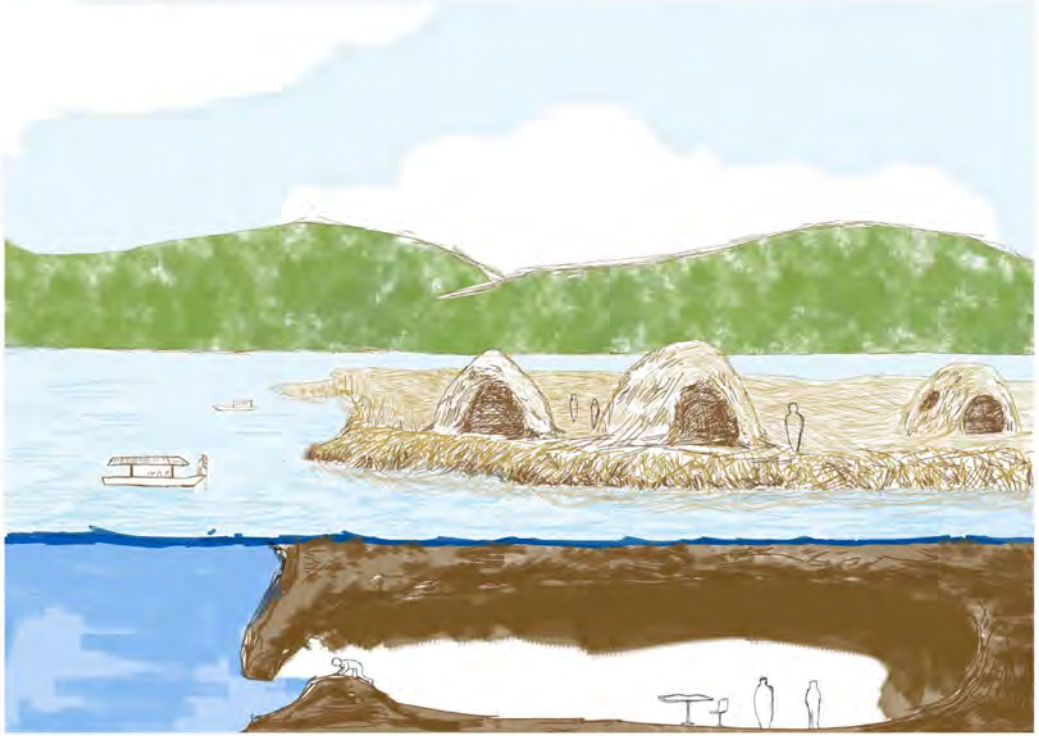


SNSのフォロワー、観光団体にかかわる人、実際に体験する人の増加

⇩

あみんちゅ

湖上生活で昔の記憶を辿る

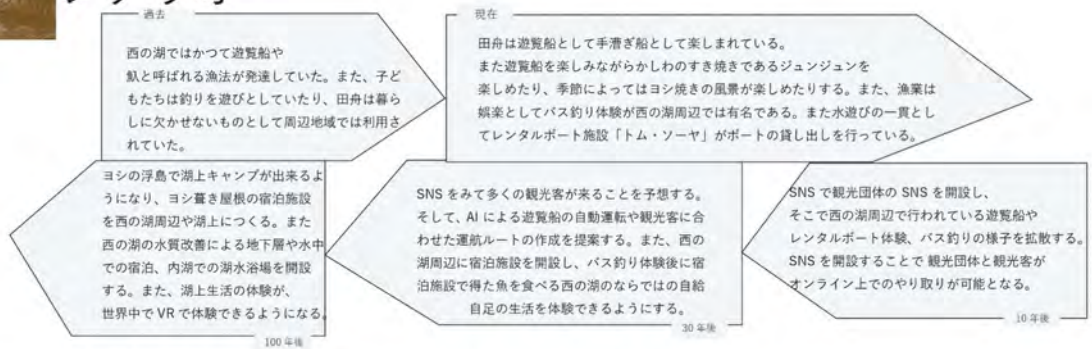


コンセプト

かつて西の湖周辺で盛んだった漁業や遊覧船が、現在は
遊びとして楽しまれている。それを未来ではまた過去に振り返り、
西の湖ならではの湖上の生活が出来るようにする。
そしてこのビジョンにより日本中、世界中の人がかつて西の湖周辺で
されていたことを体験することができるようになり、あみんちゅの増加を促進する。

遊覧船回遊ルート

シナリオ



データ

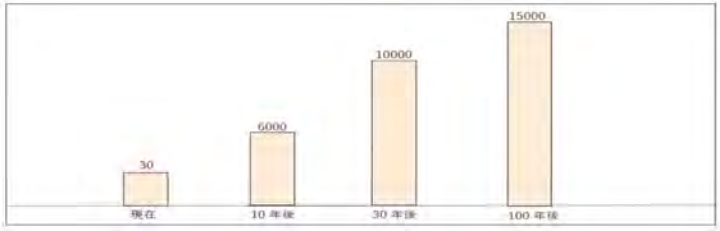
近江八幡市内での交通手段	割合（%）
1.［鉄道］JR 琵琶湖線	21.7
2.［鉄道］近江鉄道	11.2
3.［路線バス］近江鉄道バス	9.6
4.自家用車・レンタカー	67.0
5.タクシー	6.8
6.団体貸し切りバス（観光バス）	6.7
7.自転車・レンタサイクル	3.7
8.八幡山ロープウェー	8.3
9.水郷巡り遊覧船	6.0
10.徒歩のみ	2.5
11.特に移動しなかった	0.3
12.その他	1.1

1. 観光客の動向等に関する調査および分析 - 近江八幡市
https://www.city.omihachiman.lg.jp/material/files/group/102/kanko_doutai_chosa_2019.pdf

葦葺きキャンプ場１棟あたりのヨシの使用量

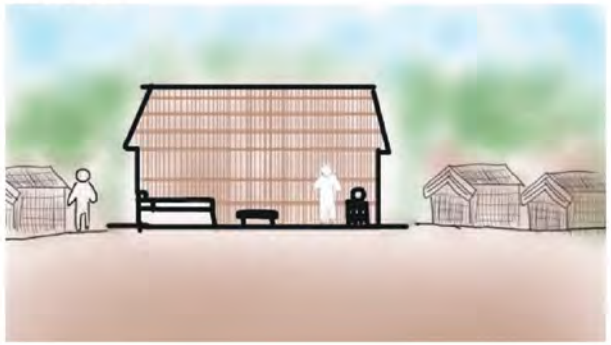
材料名	束数
葦葺屋根	2800
葦ベニヤ	172800
合計	175600

あみんちゅの増加グラフ



湖上キャンプ断面図

短期滞在



中期滞在

長期滞在

過ごし方

1日目：遊覧船で西の湖を一周、乗りながら
「ジュンジュン」を食べる
湖上キャンプ場にて宿泊

2日目：水上スポーツをしながら、バス釣りを楽しむ
湖上レストランにて釣った魚を調理してもらい、
景色を見ながら食事を楽しむ

1日目：遊覧船体験
2日目：バス釣り体験
3日目：水上スポーツ体験
4日目：観光団体の案内で西の湖回遊
5日目：湖水浴場で水遊び
6日目：鮒漁体験
7日目：湖上レストランにて食事

1週目：中期滞在と同じ体験をする
2週目：観光団体の案内で西の湖を巡る
3週目：キャンプ場づくり体験
4週目：観光団体と協力してＳＮＳで、
体験したことを発信する

サイ徒舟のルート ート
近江八幡からの観光
西の湖園地の整備
湖上レストラン
西の湖園地の整備等による
自然教育の場の創出
釣り
ボート釣り・観察
湖上キャンプ
琵琶パール
真珠の生産拡大、質上昇
野鳥観察
飼料開発による西の湖牛のブランド化
車内販売や車内レストラン
よしきりの池の整備
サイクルパーク
花畑スポットの設置
江の島港
観光和舟
安土からの観光
ヨシ建造物の設置
通り抜け可能な無人畜舎
西の湖美化計画
ゴミ回収ロボット、人工内湖の整備
ゴミ減少に伴う道路整備
レストラン等の出張
湖水浴場

担当まとめ

p.1・・・表紙(松田)
p.2・・・目次(松田)
p.3・・・メインビジュアル(山内・山梨・村居)
p.4〜p.6・・・コンセプト・基本情報
　コンセプト最終構想(松田・村居)
　コンセプトダイアグラム(松田)
　あみんちゅシステムダイアグラム(谷)
　あみんちゅの関わりダイアグラム(鈴木・権藤・谷)
　基本情報：人口・交通(山内)、コミュニティ・施設(松田)、地形・動植物(山梨)
p.7・・・8つの営み再生プロジェクト紹介
　アイコン(松田)
p.8・・・シナリオ：基本デザイン(鈴木)
p.9〜p.16・・・廃棄物(山内祥平)
p.17〜p.25・・・ヨシ(谷幸多郎)
p.26〜p.34・・・野鳥(山梨由貴)
p.35〜p.42・・・サイクリング(村居真緒)
p.43〜p.51・・・畜産(松田杏奈)
p.52〜p.60・・・真珠(権藤友菜)
p.61〜p.72・・・農業(鈴木万結)
p.73〜p.82・・・水遊び(大家成葉)
p.83・・・4つのルートの相互作用(松田・谷)
p.84・・・ルートまとめ(松田)
p.85・・・担当まとめ(松田)

全体デザイン・まとめ(松田)